

2. 履修について

経済経営学部の皆さんへ

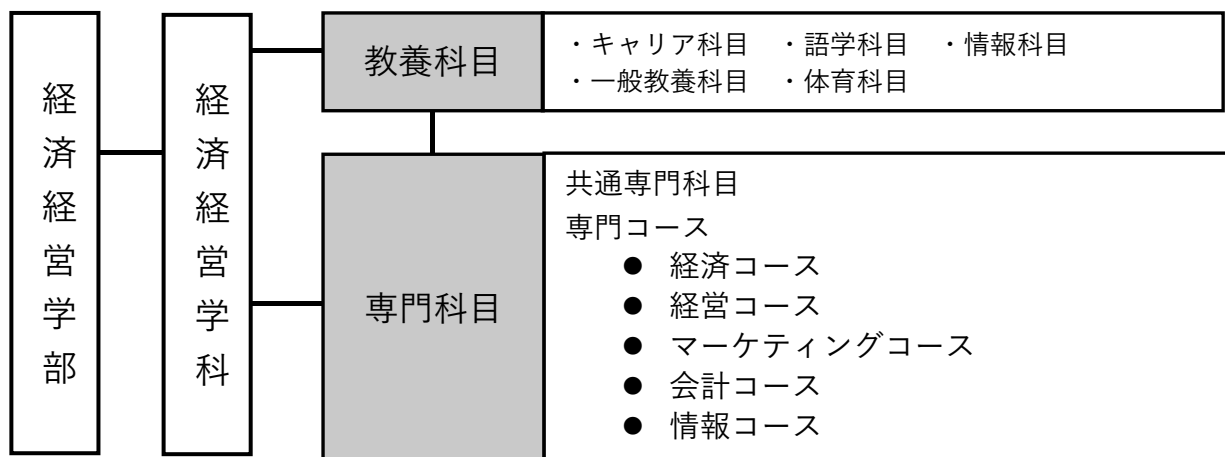
わが国の経済社会を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。

高度経済成長期から安定成長に向かう中で、日本の企業は教養豊かな労働力と終身雇用という安定した雇用形態に支えられて発展してきました。しかしながら、近年はグローバル化、ボーダレス化の波にもまれ、企業の組織力よりも、個人の能力が大きく評価されるようになってきております。そのような中で、今学生に求められているものは、幅広い教養と真の実力を備えた専門知識です。それらを評価する基準の一つは資格取得です。本学では多くの資格を得られるようなカリキュラムを構築しております。学習のスケジュールは大きく分けて、1年次・2年次の必修科目を中心に経済・経営・情報に関する幅広い知識を修得し、2年次以降で専門性を追求する仕組みになっております。また、1つの専門分野に固まらないよう、ダブルコース制を採用しています。

長岡大学の教育

毎日の大学生活で「充実感」、能力アップを実感して「達成感」、4年間を振り返って「満足感」を合い言葉に、より良い就職や進学が出来るように、次のような特徴を持ったカリキュラムを用意しております。

- 実践で役立つ教育
- 資格重視の教育
- ダブルコースによる幅広い専門知識の修得

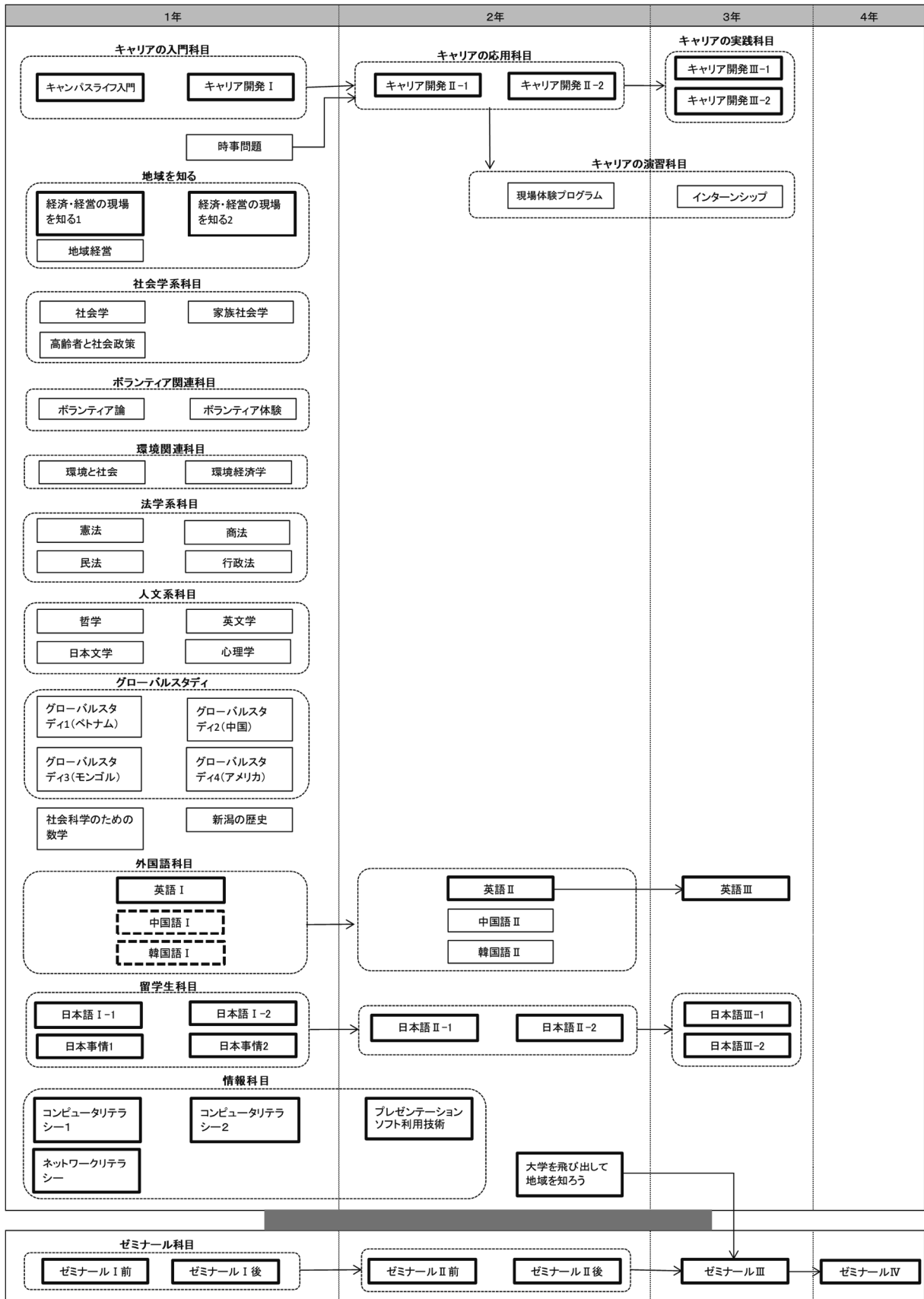


I. 教養科目について

本学での「教養」の学びは、専門科目の学びへの導入であるのに加えて、人が社会で生活しさらには仕事や人間関係を円滑にするために必要とされる知識や知性の修得を目的としています。幅広い教養を身に付けることにより、個々の専門的な学びを各自の知識として体系化する土台が形成されるとともに、将来社会人として生きるための社会人基礎力の醸成にもつながります。

本学の教養科目には、キャリア、外国語、法学、社会学、ボランティア、人文系、グローバルスタディなど様々な分野の科目が用意され、幅広いジャンルから学ぶことができます。専門科目と関連づけて応用力を高めたり、現代社会を生きるための知識を身につけたりすることができます。これからの生涯学習社会においてより有意義で豊かな人生を築いていくためにも、学問の面白さに気づく足がかりになってほしいと願っています。

(教養科目の科目系統図)



(注)太線の枠の科目は必修科目、破線の枠の科目は選択必修科目

専門科目

II. 専門コースの紹介

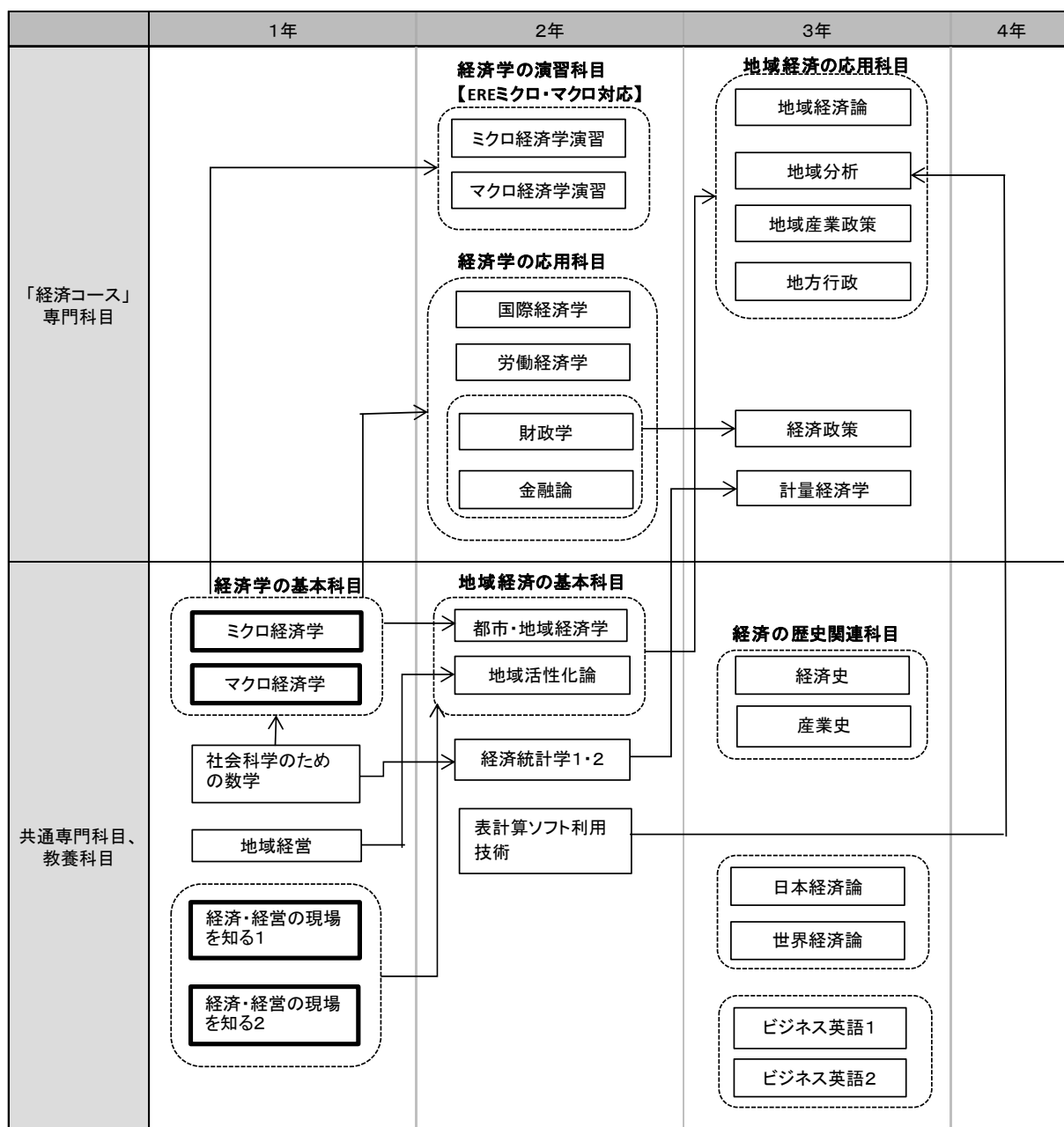
1. 経済コース

本コースは、経済の基礎知識を土台として地域社会や国際社会で活躍できる人材の育成を目的としています。経済学の基礎知識、地域経済・日本経済・国際経済などの専門知識、行政関連の知識の修得を目指します。卒業後は、本コースでの学びの成果をもとに、地元企業、グローバル企業、金融機関、地方公共団体等で力を発揮してもらいたいと願っています。

〔目指す主要な業種・分野〕 企業全般／金融機関／国家・地方公務員など

〔目指す主要な職種・部門〕 総合職／総務／企画／広報／営業／販売など

(経済コースの科目系統図)



(注) 太線の枠の科目は必修科目

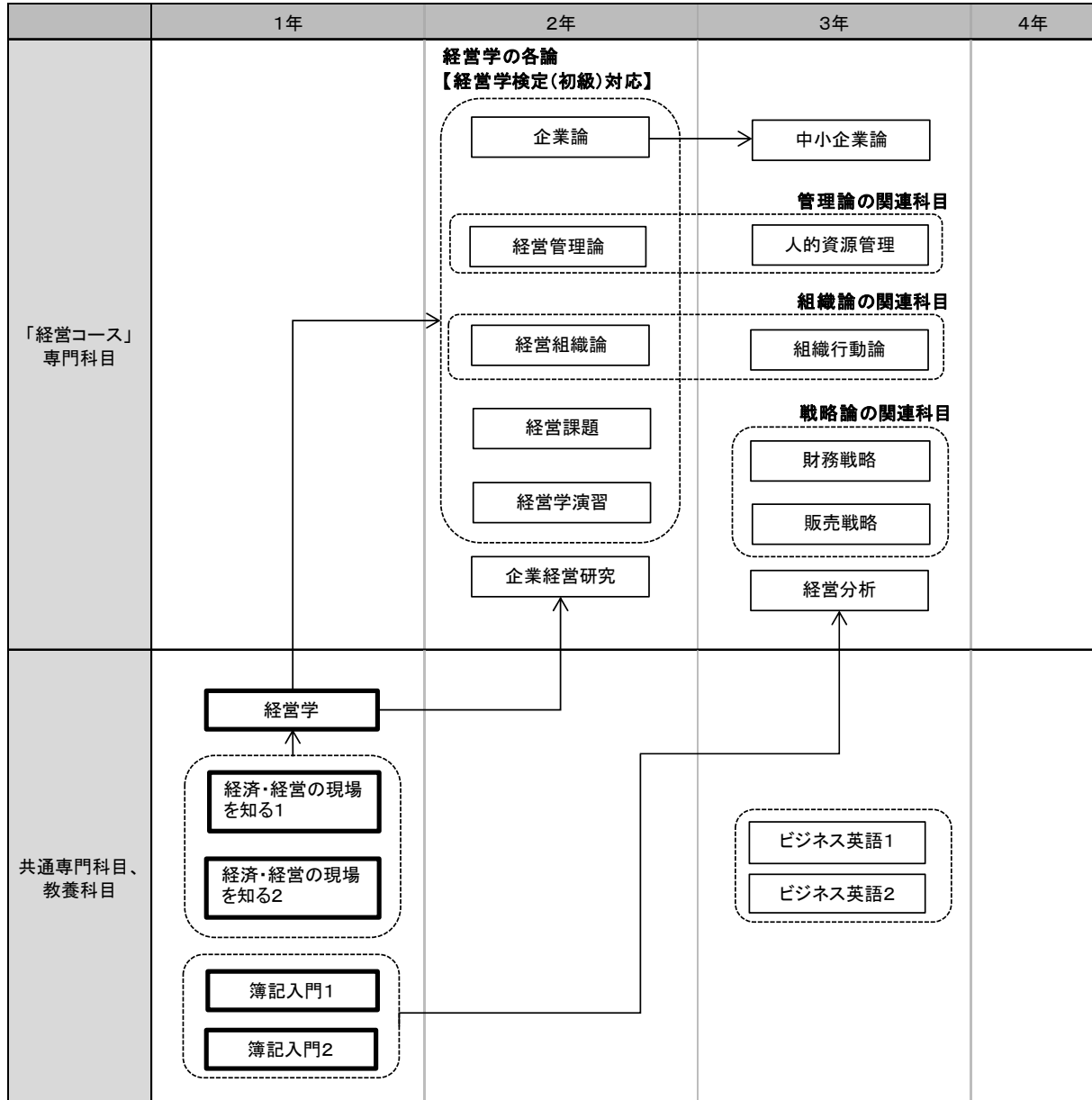
2. 経営コース

本コースは、企業経営やビジネスの知識を深めて、事業を成功に導く能力を持った人材の育成を目的としています。経営学の基礎を学び、企業システム、管理論、組織論などの学びに展開していきます。卒業後は、本コースでの学びの成果をもとに、企業組織のリーダーまたは自ら経営者として活躍してもらいたいと願っています。

〔目指す主要な業種・分野〕 企業全般／自営業／起業など

〔目指す主要な職種・部門〕 経営コンサルタント／企画／広報／人事／営業／販売など

(経営コースの科目系統図)



(注) 太線の枠の科目は必修科目

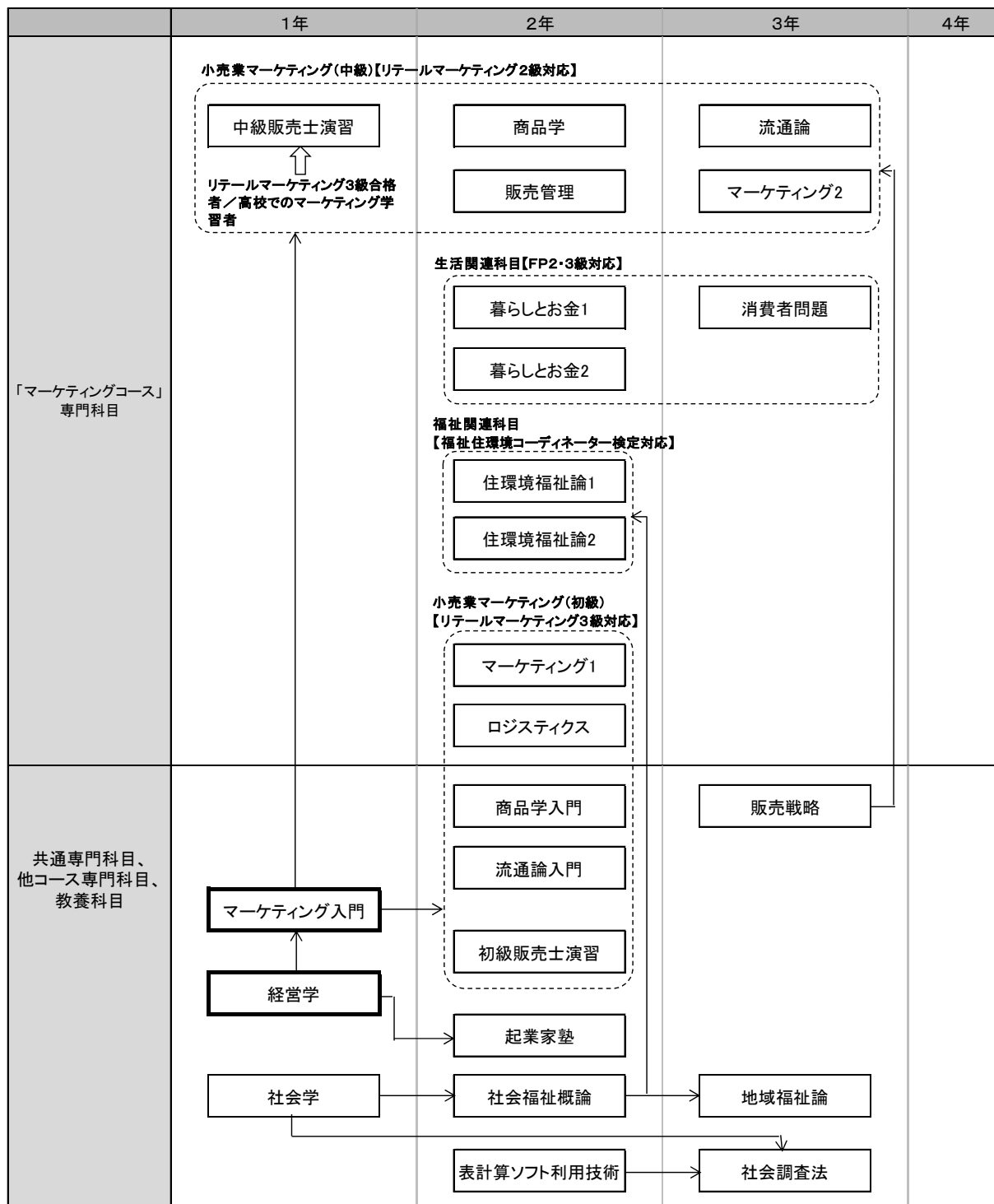
3. マーケティングコース

本コースは、個人のライフスタイルや経済活動をサポートすることができ、また企業の製品開発や販売戦略を企画することができる人材の育成を目的としています。消費者と企業の両方の立場から商品やサービスの開発や供給について学び、さらに、サービス提供や生活者の視点から福祉関連の分野も学びます。卒業後は、本コースの学びの成果をもとに、小売業、卸売業、サービス業、金融機関、福祉関連などの分野で活躍してもらいたいと願っています。

〔目指す主要な業種・分野〕 企業全般／小売・卸売業／サービス業／金融機関／福祉関連など

〔目指す主要な職種・部門〕 総務／企画／商品開発／広報／営業／販売／ファイナンシャル・プランナーなど

(マーケティングコースの科目系統図)



(注)太線の枠の科目は必修科目

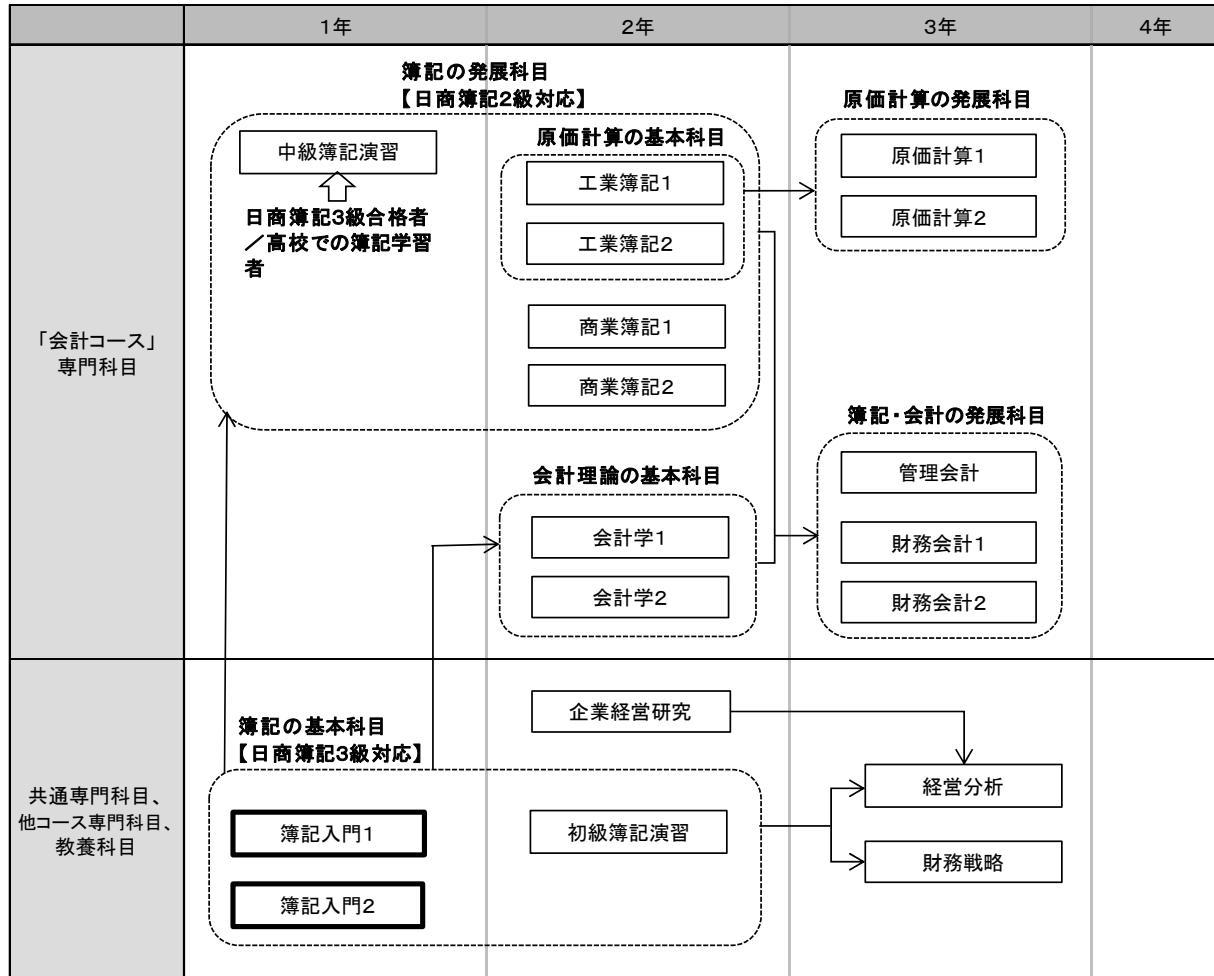
4. 会計コース

本コースは、将来的に企業の事務部門を統括できる人材の育成を目的としています。事務会計の基本を総合的に身に付けるため、経営関連の学びを深めるとともに、日商簿記検定関連科目を中心とした科目に取り組みます。卒業後は、本コースの学びの成果をもとに、一般の企業組織、金融機関、会計事務所などで活躍してもらえよう願っています。

〔目指す主要な業種・分野〕 企業全般／金融機関／会計事務所／税理士事務所など

〔目指す主要な職種・部門〕 総務／経理／財務など

(会計コースの科目系統図)



(注)太線の枠の科目は必修科目

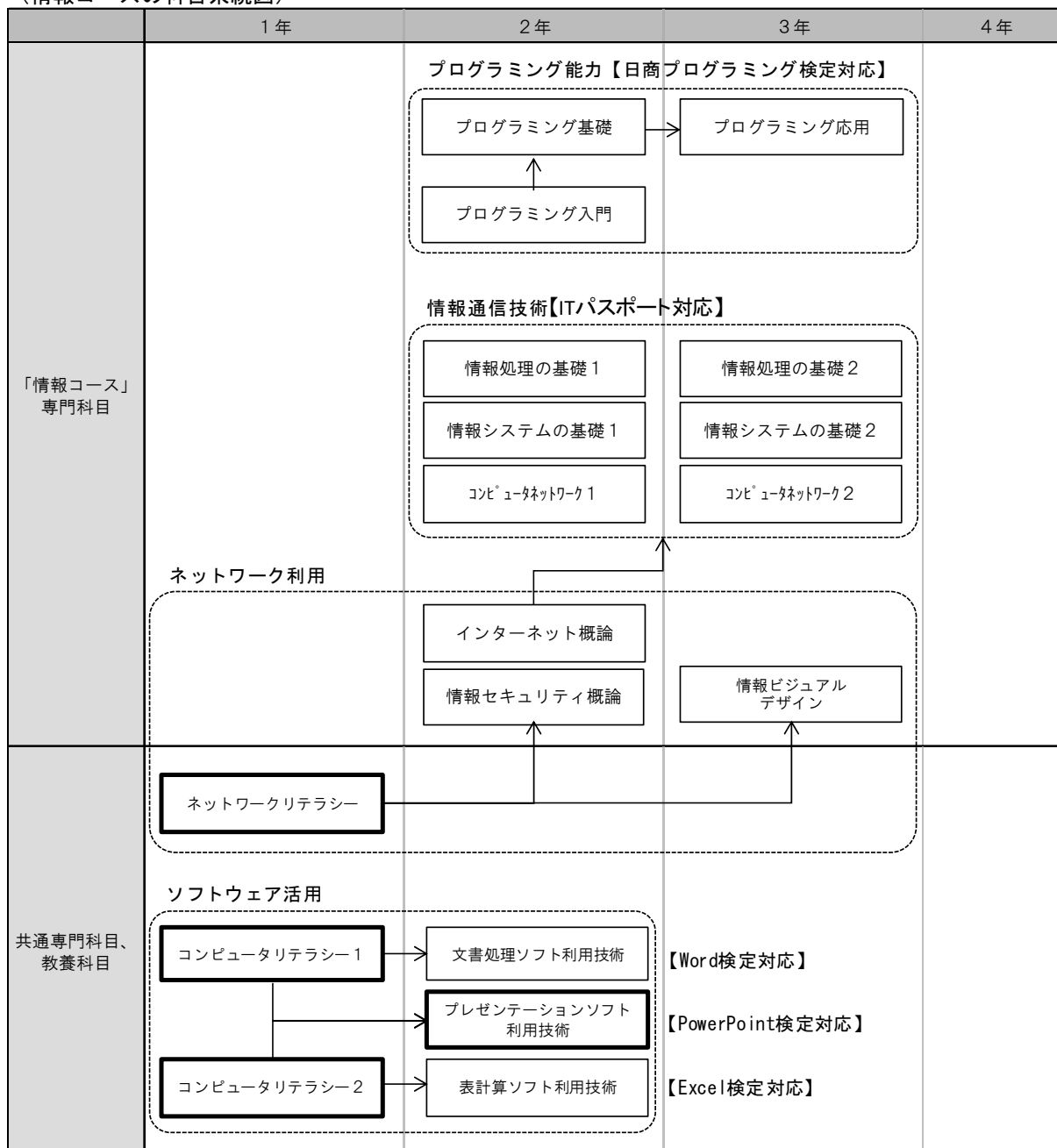
5. 情報コース

本コースは、企業における様々な場面（企画立案、営業実務、販売管理等）に必要な IT スキルを身に付けた人材の育成を目的としています。ソフトウェア活用（Word、Excel、PowerPoint 等）の知識・スキルを土台に、プログラミング、インターネット利用、セキュリティ技術等の学びへ展開します。卒業後は、本コースでの学びの成果をもとに、一般企業や情報通信業などの分野で活躍してもらいたいと願っています。

〔目指す主要な業種・分野〕 企業全般／情報通信業など

〔目指す主要な職種・部門〕 システムエンジニア／情報システム管理者／Web クリエイター／ネットワーク管理者など

（情報コースの科目系統図）



（注）太線の枠の科目は必修科目

長岡大学 資格対応型専門教育プログラム

本学のカリキュラムは、学生の皆さんが社会に出てからの実生活や仕事において役に立つ知識やスキルを身に付けてもらえるように構成しています。特に、資格対応型専門教育プログラムを通じて、皆さんが各専門資格検定の取得・合格を目指す中で、様々な知識を積み上げてもらえることを期待しています。

大学の授業で学び、各試験対策講座を受講し、資格検定試験に挑戦してください。資格検定試験に合格した場合には、申請により下記の授業科目について単位を認定することができます。

資格検定試験による単位認定

学科	資格	実施団体	単位	該当科目
経済 経営	経済学検定（E R Eミクロ・マクロ）A判定以上	日本経済学教育協会	4	ミクロ経済学演習、マクロ経済学演習
	福祉住環境コーディネーター 3級	東京商工会議所	2	住環境福祉論 1
	福祉住環境コーディネーター 2級	東京商工会議所	2	住環境福祉論 2
	経営学検定（初級）	NPO法人経営能力開発センター 経営学検定試験協議会	4	経営学：4単位、経営学演習、経営組織論、経営管理論、企業論、経営課題
	日商簿記検定 3級	日本商工会議所	4	簿記入門 1、簿記入門 2、初級簿記演習
	日商簿記検定 2級	日本商工会議所	8	商業簿記 1、商業簿記 2、工業簿記 1、工業簿記 2、中級簿記演習
	日商簿記検定 1級	日本商工会議所	8	財務会計 1、財務会計 2、原価計算 1、原価計算 2
	リテールマーケティング（販売士） 3級	日本商工会議所	4	マーケティング入門、商品学入門、流通論入門、マーケティング1、初級販売士演習
	リテールマーケティング（販売士） 2級	日本商工会議所	6	販売戦略、ロジスティクス、商品学、販売管理、流通論、マーケティング2、中級販売士演習
	ファイナンシャルプランニング技能士 2級	社団法人金融財政事情研究会 日本FP協会	4	暮らしとお金1、暮らしとお金2
	ITパスポート	情報処理推進機構	6	情報処理の基礎 1、情報処理の基礎 2、情報システムの基礎 1、情報システムの基礎 2、コンピュータネットワーク1、コンピュータネットワーク2
	Word文書処理技能認定試験 3級	サーティファイ	1	コンピュータリテラシー 1
	Word文書処理技能認定試験 2級	サーティファイ	4	文書処理ソフト利用技術
	Excel表計算処理技能認定試験 3級	サーティファイ	1	コンピュータリテラシー 2
	Excel表計算処理技能認定試験 2級	サーティファイ	4	表計算ソフト利用技術
	ビジネス文書実務検定 1級	全国商業高等学校協会	1	コンピュータリテラシー 1
	情報処理技能検定試験 2級	日本情報処理検定協会	1	コンピュータリテラシー 2
	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験上級	サーティファイ	2	プレゼンテーションソフト利用技術
	ドットコムマスター-BASIC	NTTコムチャオ	2	ネットワークリテラシー
	日商プログラミング検定 BASIC	日本商工会議所	2	プログラミング入門
	日商プログラミング検定 STANDARD	日本商工会議所	2	プログラミング基礎
	「ハングル」能力検定試験 5級	ハングル能力検定協会	2	韓国語 I
	「ハングル」能力検定試験 4級	ハングル能力検定協会	2	韓国語 II
	中国語検定試験準4級	(一財)日本中国語検定協会	2	中国語 I
	中国語検定試験4級	(一財)日本中国語検定協会	2	中国語 II
	実用英語検定 2級	財団法人日本英語検定協会	2	英語 I
	実用英語検定 1級	財団法人日本英語検定協会	2	英語 II
	実用英語検定 1級	財団法人日本英語検定協会	2	英語 III
	TOEFL iBT 61点以上	Educational Testing Service(USA)	2	英語 I
	TOEFL iBT 76点以上	Educational Testing Service(USA)	2	英語 II
	TOEFL iBT 88点以上	Educational Testing Service(USA)	2	英語 III
	TOEIC L&R 600点以上	(財)国際ビジネスコミュニケーション協会	2	英語 I
	TOEIC L&R 700点以上	(財)国際ビジネスコミュニケーション協会	2	英語 II
	TOEIC L&R 800点以上	(財)国際ビジネスコミュニケーション協会	2	英語 III
	工業英語能力検定 3級	財団法人日本工業英語協会	2	英語 I
	工業英語能力検定 2級	財団法人日本工業英語協会	2	英語 II
工業英語能力検定 1級	財団法人日本工業英語協会	2	英語 III	
日本語能力検定試験 N 2	日本国際教育支援協会	4	日本語 I -1、日本語 I -2、日本語 II -1、日本語 II -2	
日本語能力検定試験 N 1	日本国際教育支援協会	2	日本語 III -1、日本語 III -2	

- 1、上記資格を取得した場合、単位認定数の範囲内で該当科目の単位を認定する。
- 2、上記資格を取得しても、現年次が該当科目の配当年次に達していない場合、単位を認定しない。
- 3、上位資格を取得した場合、下位資格の該当科目の単位も認定する。
- 4、配当年次に達していても前期に後期・通年科目の単位認定を申請した場合、後期に単位を認定する。
- 5、在宅受験による資格取得は単位認定しない。（検定試験の種類により認める場合があるので、教務課に確認すること。）

Web履修登録 操作マニュアル

1 ログイン

デスクトップの画面上に、「Web履修登録」のアイコンがありますので、ダブルクリックしてください。ログイン画面が表示されます。



長岡大学 令和4年度履修登録

学籍番号

ユーザーID

パスワード

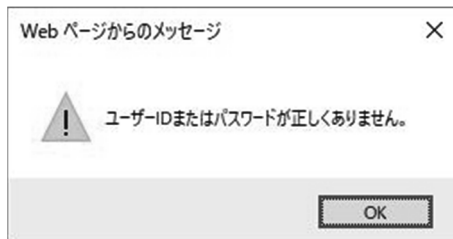
ログイン

学籍番号、ユーザーID、パスワードを入力して [ログイン] ボタンを押すと履修登録画面が表示されま

※ログインの際、大文字・小文字に注意！（ユーザーID：k22XXXのkは小文字）

※履修内容が確定済みの場合はログイン後、履修登録完了画面が開きます。

ユーザーID、パスワードが間違っていた場合は、



というメッセージが表示されますので、もう一度、正しいユーザーID、パスワードを入力してください。

※ 似ている文字に注意！ 0、1（オー、エル）は使っていますがパスワードには、0、1（ゼロ、イチ）は使っていません。

履修登録期限を過ぎている場合は、



というメッセージが表示され、ログインできません。

2 履修登録

ログインした学生の学籍番号、選択コース（2年生以上）、履修科目一覧が表示されます。「シラバス参照」をクリックして、履修したい授業科目をよく確認してください。

履修登録画面 シラバス参照

履修登録期間 20XX年XX月XX日～20XX年XX月XX日です。
確定登録後印刷用画面が表示されますので画面を印刷し教務課へ提出してください。

学籍番号 22K000

曜日	時限	前期	後期
月	I 限	▼	▼
	II 限	▼	▼
	III 限	▼	▼
	IV 限	▼	▼
	V 限	▼	▼
	VI 限		
火	I 限	▼	▼
	II 限	▼	▼
	III 限	▼	▼
	IV 限	▼	▼
	V 限	▼	▼
	VI 限		
水	I 限	▼	▼
	II 限	▼	▼
	III 限	▼	▼
	IV 限	▼	▼
	V 限	▼	▼
	VI 限		
木	I 限	▼	▼
	II 限	▼	▼
	III 限	▼	▼
	IV 限	▼	▼
	V 限	▼	▼
	VI 限		
金	I 限	▼	▼
	II 限	▼	▼
	III 限	▼	▼
	IV 限	▼	▼
	V 限	▼	▼
	VI 限		
土	I 限	▼	▼
	II 限	▼	▼
	III 限	▼	▼
	IV 限	▼	▼
	V 限	▼	▼
	VI 限		

一時保存 ログアウト 確定



(2年生以上は選択コースが表示される)

履修登録画面 シラバス参照

履修登録期間 20XX年XX月XX日～20XX年XX月XX日です。
確定登録後印刷用画面が表示されますので画面を印刷し教務課へ提出してください。

学籍番号 21K000 選択コース ▼ ▼

曜日	時限	前期	後期
月	I 限	▼	▼
	II 限	▼	▼
	III 限	▼	▼
	IV 限	▼	▼
V 限			

① 選択コースの入力

【2年生】それぞれのカリキュラムに合わせたコースが表示されます。その中から選択してください。

※選択コース1、2は、重複しないようコース選択をしてください。

【3・4年生】2年生で選択したものが表示されています。変更しない場合は選択しないでください。

選択コース

前期

- 経済コース
- 経営コース
- 会計コース
- マーケティングコース
- 情報コース

②履修科目の入力

各曜日、時限で選択可能な授業クラスが表示されますので、その中から選択してください。

※既に履修済の科目は表示されません。

※学年配当に達していない科目は表示されません。

時限	前期
I 限	
II 限	01 健康とスポーツ
	02 ボランティア論
III 限	04 地域活性化論
	06 人的資源管理1
IV 限	

③履修内容の確認

入力が終わったら、履修内容を確認します。

[一時保存] ボタン、[確定] ボタンを押すと履修登録確認画面が表示されます。

一時保存

確認画面を表示して、入力した内容を確定せずに一時的に保存します。

ログアウト

履修登録画面からログアウトします。

確定

確認画面を表示して、入力した内容を確定します。
確定後の修正はできませんので注意してください。

選択コースの入力で、同じコースを選択した場合は、



というメッセージが表示されますので、重複しないよう、選択コースを入力しなおしてください。

- ・週2時限ある科目は、1時限目（早い方）の授業を選択すると、2時限目も自動で選択されます。
- ・通年科目は、前期の授業を選択すると、後期の授業も自動で選択されます。

④履修内容の登録

<一時保存の場合>

履修登録確認画面

学籍番号 22K000 選択コース 経営戦略 事務会計

曜日	時限	前期	後期
月	I限		
	II限	05 地域経営	
	III限	03 商品学入門	04 商品学
	IV限		
	V限		
	VI限		
火	I限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A
	II限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A
	III限		06 環境経済学
	IV限		
	V限		
	VI限		
水	I限	02 ゼミナルII	02 ゼミナルII
	II限	25 初級販売士演習	29 中小企業金融論
	III限		
	IV限		
	V限		
	VI限		
木	I限	02 企業論	02 企業論
	II限		
	III限		
	IV限	03 都市経済学	04 地域経済学
	V限		
	VI限		
金	I限	03 マーケティング1	02 マーケティング入門
	II限	03 住環境福祉論1	04 住環境福祉論2
	III限	03 英語II A	03 英語II A
	IV限		
	V限		
	VI限		
土	I限		
	II限		
	III限		
	IV限		
	V限		
	VI限		

【履修単位数合計】

科目分類	単位数合計
教養科目	2
ゼミナル科目	2
専門科目	36
合計	40

1年生が1年間に履修できる単位の上限は44単位です。
2年生が1年間に履修できる単位の上限は46単位です。
3,4年生が1年間に履修できる単位の上限は49単位です。
上限以上は履修できません。

上記の内容で一時保存します。よろしいですか？

履修できる単位の上限を超えて履修登録した場合はメッセージが表示されます。

履修できる単位の上限以内に修正してください。



登録

表示されている内容を一時保存します。

戻る

前画面（履修登録画面）に戻ります。

ログアウト

[登録] ボタンを押すと、履修内容が一時保存され、履修登録完了画面が表示されます。
で登録完了画面からログアウトします。

< 確定の場合 >

履修登録確認画面

学籍番号 22K000 選択コース 経営戦略 事務会計

曜日	時限	前期	後期
月	I 限		
	II 限	05 地域経営	
	III 限	03 商品学入門	04 商品学
	IV 限		
	V 限		
	VI 限		
火	I 限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A
	II 限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A
	III 限		06 環境経済学
	IV 限		
	V 限		
	VI 限		
水	I 限	02 ゼミナルII	02 ゼミナルII
	II 限	25 初級販売士演習	29 中小企業金融論
	III 限		
	IV 限		
	V 限		
	VI 限		
木	I 限	02 企業論	02 企業論
	II 限		
	III 限		
	IV 限	03 都市経済学	04 地域経済学
	V 限		
	VI 限		
金	I 限	03 マーケティング1	02 マーケティング入門
	II 限	03 住環境福祉論1	04 住環境福祉論2
	III 限	03 英語II A	03 英語II A
	IV 限		
	V 限		
	VI 限		
土	I 限		
	II 限		
	III 限		
	IV 限		
	V 限		
	VI 限		

【履修単位数合計】		単位数合計
科目分類		
教養科目		2
ゼミナル科目		2
専門科目	専門科目	36
合計		40

1年生が1年間に履修できる単位の上限は44単位です。
2年生が1年間に履修できる単位の上限は46単位です。
3,4年生が1年間に履修できる単位の上限は49単位です。
上限以上は履修できません。

上記の内容で確定します。確定後内容の修正は出来ません。
よろしいですか？

登録

[登録] ボタンを押すと、履修内容が確定され、履修登録完了画面が表示されます。

確定後の修正はできませんので注意してください表示されている内容を確定します。

戻る

前画面（履修登録画面）に戻ります。

⑤履修科目票の印刷

確定後、履修登録完了画面が表示されますので、その画面を印刷し、氏名を書いて教務課へ提出してください。また、確定済みの場合はログイン後、履修登録完了画面が開きますので再印刷も可能です。

下記の内容で確定しました。
この画面を印刷して、教務課へ提出してください。

学籍番号 22K000 選択コース 経営戦略 事務会計

氏名 _____

曜日	時限	前期	後期
月	I 限		
	II 限	05 地域経営	
	III 限	03 商品学入門	04 商品学
	IV 限		
	V 限		
	VI 限		
I 限	03 文書処理ソフト利用技術A	04 表計算ソフト利用技術A	

「登録」ボタンで確定すると、「氏名」を書く欄が表示される。

ログアウト

履修登録完了画面からログアウトします。